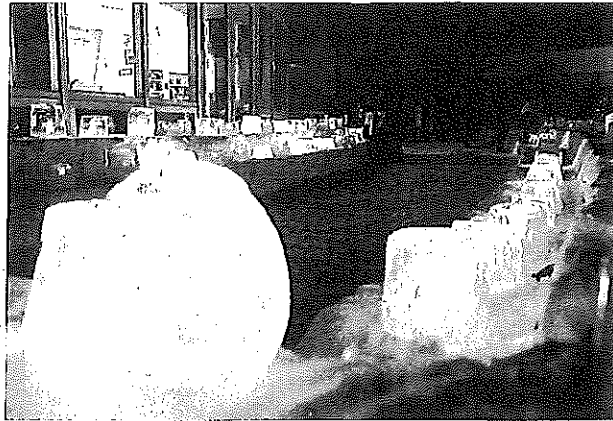


幻想的な雰囲気演出するアイスキャンドル



土幌の夜 氷灯照らす 町民製作196個、雪像も

【土幌】街中にアイスキャンドルをともすイベント「Shihoro on ICE 2020」(実行委員会主催)が1月31日、町タウンプラザ前で開かれた。町民が製作した196個のアイスキャンドルと町内の有志が手掛けた人気キャラクターの雪像を、多くの人が見物した。

「みんなで作る」をコンセプトに、町民から作り出したアイスキャンドルを募る形で実施しており今年で3回目。1月27日から5日間、実行委を中心に準備を進めてきた。

降雪量の少なさから、アイスキャンドルを飾る棚を作れない状況にも陥ったが、この悩みを聞きつけた町内の平田建設(長谷川雅毅社長)が手助け。4トトラックで雪を運搬して、社員14人が手作業でひな壇とメインステージを製作した。

当日は風が吹きつける中、ろうそくの火が思うように点灯しないアイスキャンドルもあったが、ろうそく形のLEDライトを活用。有志による焼きマシユマロやスープレの提供、映画「アナと雪の女王」に登場する人気キャラクター「オラフ」の雪像もお目見えし、子どもたちを喜ばせた。

石村栄矢実行委員長は「準備期間も当日も天候に恵まれなかったが、多くの人の思いと協力ですてきなイベントとなった。来年以降も継続させたい」と話した。翌2月1日は来年に向けたテストとして、前日に点灯したアイスキャンドルのうち約120個を、土幌交通公園内にある旧土幌駅舎の周辺に移設。近隣住民も見物に訪れ、旧駅舎やホームを照らす温かい光に魅了されていた。(小縣大輝)